

パンの種類識別 瞬時にレジ会計

ベーカリーを全国展開への導入も検討する。するドンク（神戸市）は、商業施設「nonow」13日、JR西国分寺駅に「a西国分寺」内に都内で直結した商業施設内に新14店舗目となる主力のベーカリーをオープンする。精算「カーリーブランド」の時にカメラで複数のパン「ク」を出店する。小さいの種類を瞬時に識別し、クロワッサンを量り売り会計できるシステムを初する「ミニワン」も併設して導入する。レジの混雑する。店舗面積は計約60平方メートル。フランスパンや雑種和や店員の負担軽減、顧客の反応、ミルクパンなど計85種類や効果を見定め、他店舗を販売する。

ドンク、西国分寺の新店に導入



レジにトレーを載せるとパンの種類を約1秒で特定

新店舗では客がレジにトレーを載せると、カメラがパンの形状や色を読み取り、パンの種類を約1秒で特定する。その後、

混雑緩和、店員の負担軽減 ブレインが開発、初の実用化

商品名や単価、合計金額を表示し、会計する。システム開発のブレイン（兵庫県西脇市）が開発し、実用化するのは今回が初めて。焼きたてパンの商品には直接バーコードのシールを貼ることができない。店員が商品を一つ一つ確認しながらレジを打つため、時間を要し、会計時に長い列ができるケースも多い。新システムの導入で会計時間の短縮や業務の効率化を目指す。

同社は「西国分寺駅は中央線と武蔵野線の乗換駅で混雑する立地」と判断した。他のベーカリーと比べ顧客の利便性を高め集客力を強化する。新店では20〜30代の働く男女や大学生を主なターゲットとし、月3万人の来客を目標とする。

ドンクは複数のブランドで全国で約180店舗を開いている。都内では日本橋高島屋やアトレ吉祥寺など商業施設内で展開しているほか、海外にもシンガポールや中国、台湾に店舗網がある。2012年2月期の売上高は約327億円。